

PIUSTYLE システムキッチン

CU-402FL

設置説明書



piu style

設置作業手順

	設置作業前の確認	P 4
	製品特徴の説明 (CU402FLについて)	P 5
①	基本フレームの組立	P 6
②	基本フレームの固定と各種オプションの組立	P 7
③	ペニンシュラ天板 受ブラケットの設置	P 8
④	基本フレームの床固定	P 8
⑤	基本フレームの壁固定	P 8
⑥	幕板やパネルの設置	P 9
⑦	横幕板の設置	P 9
⑧	本体用棚板 及び 地板の設置	P 10
⑨	引出しの設置	P 10
⑨-2	引出しの設置—ブラケットと引出しのセッティング	P 11
⑩	ワークトップの設置	P 12
⑪	拡張フレームの設置	P 12
⑫	LED照明 (オプション) の設置	P 13
⑬	小引出し (オプション) の設置	P 13
⑭	水栓金具の設置	P 14
⑮	排水器具の設置	P 14
⑯	機器類の取付	P 15
⑰	配管・配線の接続	P 15
⑱	コーキング	P 15
⑲	点検清掃・養生・残材処理	P 15
	商品仕様・標準施工図	P 16~

安全上のご注意 〈必ずお守りください〉



- ここでは、施工作業者の方が、安全にシステムキッチンの取付作業を行って頂けるように、取付作業中の事故を回避するための注意事項と、取付後ご使用になる方が、システムキッチンをご使用頂けるように、使用中の事故を回避するための施工上の注意事項をあげています。

この安全上の注意事項をよくお読みの上、正しく施工を行ってください。



- 施工完了後、施工後の確認事項にしたがって各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、施工完了後、お引き渡し時にお客様にお渡しください。





■警告表示の見方

- 表示内容を無視して誤った施工をした時生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の覧は「使用者または施工者が死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の覧は「使用者または施工者が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 警告	
	水道、ガス、電気工事は、関連する法令・規程に従って必ず「有資格者」が行ってください。 ※誤った接続や固定方法で行うと漏水・発煙・火災・感電の原因となります。
	壁面に本体やオプションパーツを取付ける取付け木（30×90以上）が指定通りに使用されていることを確認してから取付けてください。 ※十分なネジ保持力がないと使用中にパーツが落下して、怪我をする恐れがあります。
	壁面に取付けるビスは、それぞれに設置される場所の建物構造に合わせΦ4.5～5.5mmのもので、取付け木に20mm以上ネジが効く長さのものを選択してご使用ください。 ※適切なネジを使用せずに取付けると使用中にネジの緩みが原因でユニットが落下し、怪我をする恐れがあります。

注意



基本フレームを組み立てる途中に、移動する場合は枠フレームを持って抱えるようにゆっくりと動かしてください。

※ブラケットで引っ掛けただけの状態の横棧や幕板などを持って動かすと、脱落して破損や怪我をする恐れがあります。



取付け途中のフレームの上に乗ったり、もたれかかったり重量物を載せたりしないでください。

※破損または落下して怪我をする恐れがあります。



ステンレスシンクのトラップ用開口部分や天板切断面など鋭角な部分で怪我をしないようにしてください。

※直接接触すると手を切る恐れがあります。



水栓金具・排水部品（浅型トラップなど）の取付け部・接続部のナットは十分に締付けを行ってください。

※ナットの締付けが不十分な場合、使用中に取付け部から漏水する恐れがあります。



排水ホース・パイプはねじれ・折り曲げがないように建築側排水管との接続を確実に行ってください。

※使用中の漏水の原因となります。



棚板は棚受けがフレームにきちんと差し込まれ、棚板が固定されていることを確認してください。

※棚板が落下し、怪我をする恐れがあります。



施工完了後は、扉の傾き・ガタツキ・蝶番のネジの緩みがないこと、また引出は奥まできちんとセットされていることを確認してください。

※蝶番のネジが締付けが不十分な場合や、引出がきちんとセットされていない場合使用中に扉や引出が落下し怪我をする恐れがあります。



ビルトイン機器については、それぞれに付属の説明書・注意事項をご覧ください。

※誤った施工・設置は思わぬ事故や故障の原因となる恐れがあります。

設置のまえに

設置場所の確認

施工を始める前に、まず下記の項目についてチェックしてください。

- (1) 設置場所の間口寸法、壁の垂直、入り隅の直角、床の水平
- (2) 窓枠など開口部分の寸法
- (3) 壁側に設置されている、取付木の位置と寸法が指示どおりか



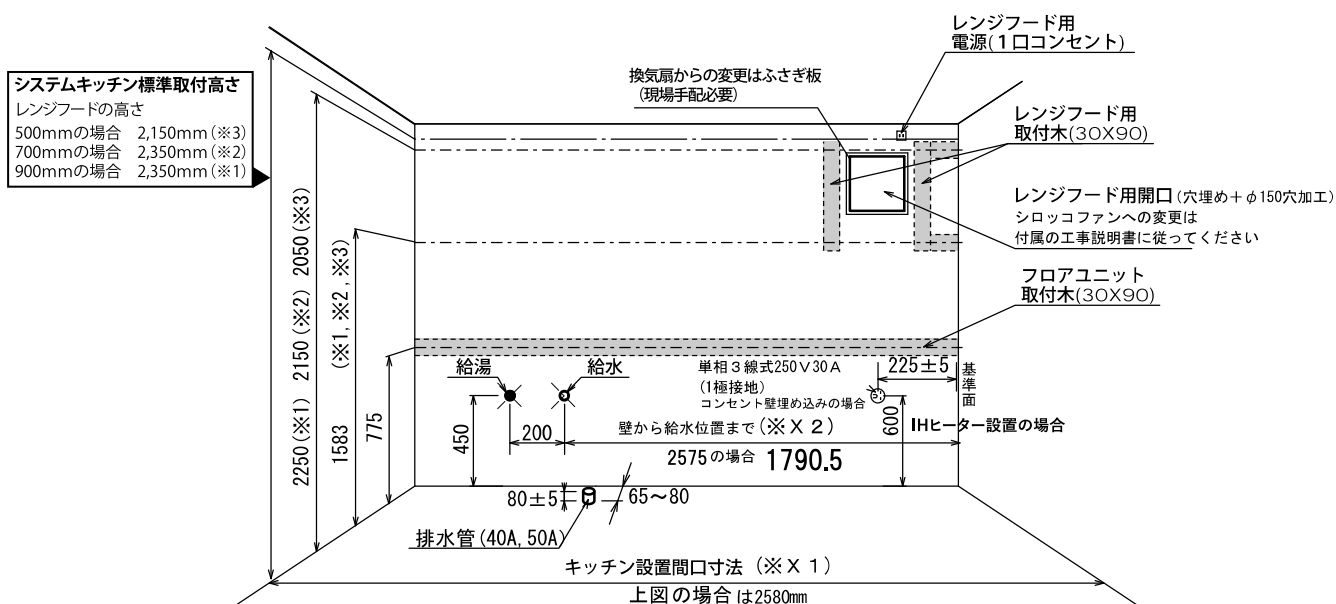
取付木（厚さ30mm以上、高さ90mm以上）が指定どおりに使用されていることを確認してから、取付けてください。

※取付木に十分なネジ保持力がないと、使用中にユニットが落下し、怪我をする恐れがあります。

○仕上げがタイル着などで、その下地材の厚みが12mm以上の耐水合板、もしくは同等品以上の強度がある場合は、取付け用機工事は不要です。

○足元引出タイプのキッチンを設置の場合、床仕上げを後貼りとしたとき、ユニット下に床材と同じ厚みのかさ上げをしてください。

- (4) 必要な給排水・ガス管・電源等の位置と接続方法
- (5) レンジフード用開口の位置および寸法



	キッチン設置間口 (※X1)	壁から給水位置まで (※X2)
2725R/L	2725mm	2268.5mm
2575R/L	2575mm	2118.5mm
2425R/L	2425mm	1968.5mm
2125R/L	2125mm	1668.5mm

※上図はLの場合、Rの場合は左右逆になります。

CU-402 FL について

CU-402 FLのシリーズは、スリットパイプを使って作られた、黒色粉体塗装のフレームセットを、横棧セットで連結し、黒色メラミンポストフォームのシンク部天板と、無垢集成材の加熱部天板を載せた基本ユニットを基本形として、加熱機などのビルトイン機器、幕板や引出し、拡張フレームなどのオプションを選びシステムアップしていく仕様の商品となります。

(1) 基本フレーム構成

含まれるもの

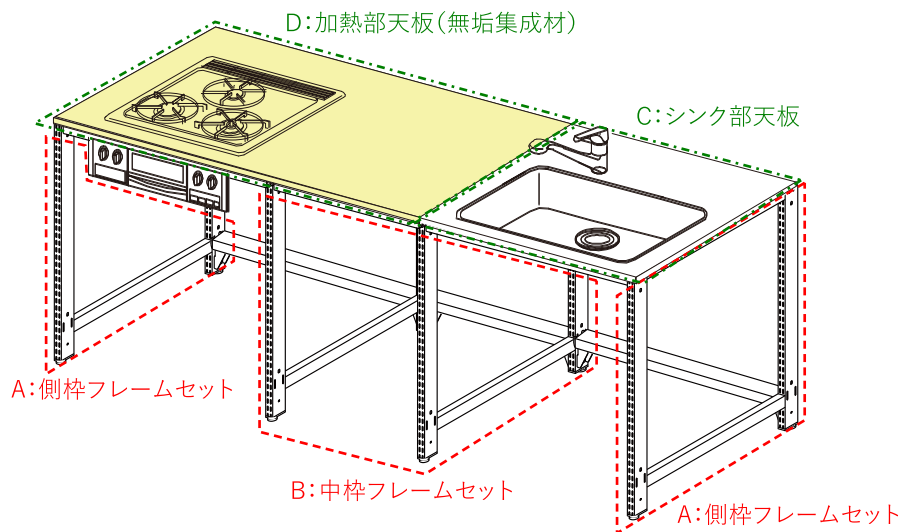
A: 側枠フレームセット

B: 中枠フレームセット

C: シンク部天板

D: 加熱部天板

(無垢集成材)



(2) オプション組み合わせ例

選択できるもの

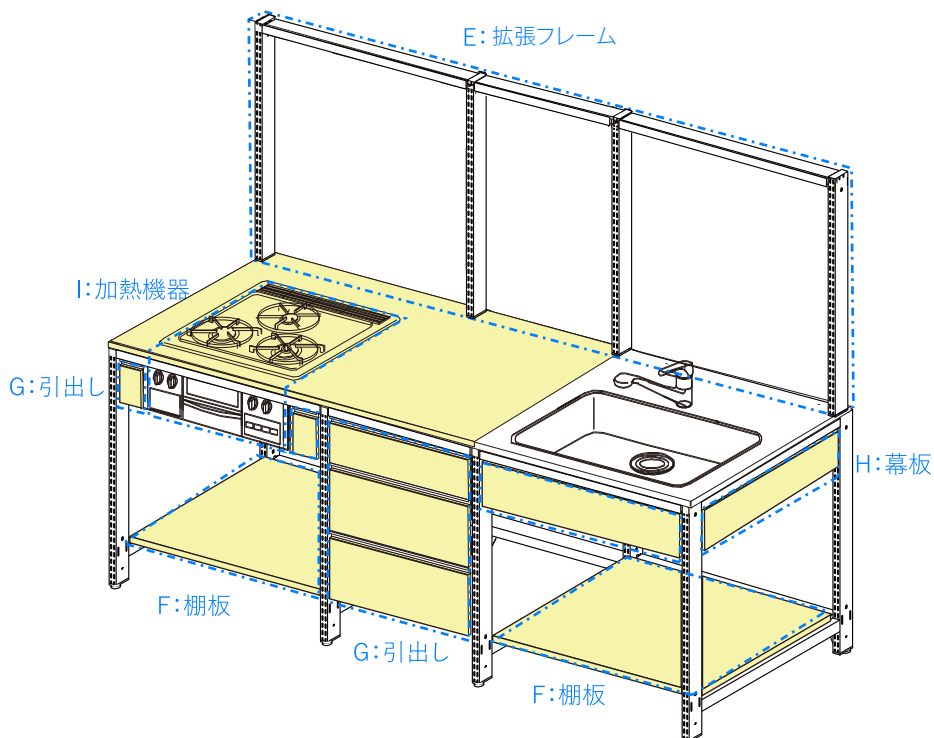
E: 拡張フレーム

F: 棚板

G: 引出し

H: 幕板(無垢集成材)

I: 加熱機器

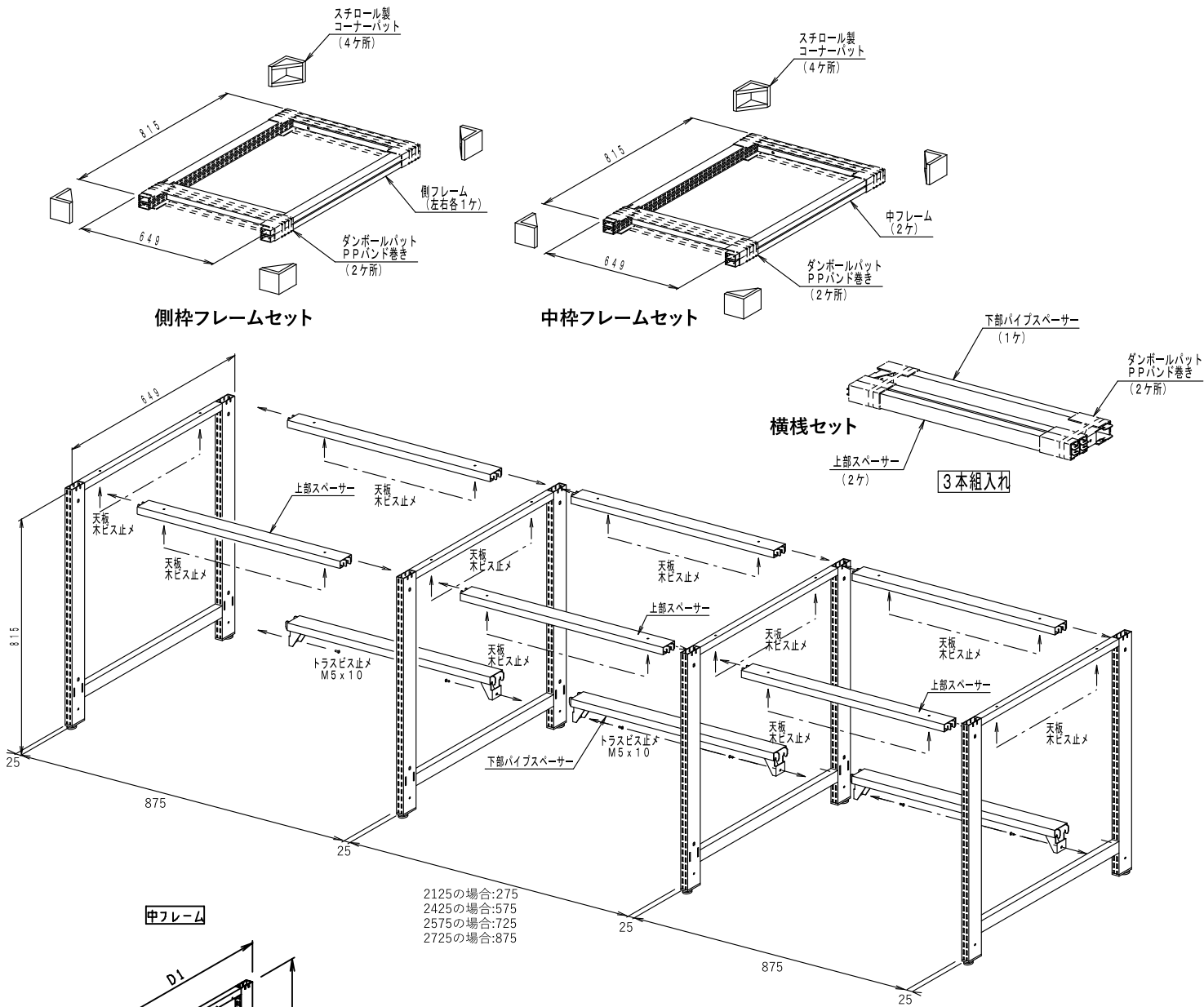


設置

①

基本フレームの組立

側枠フレームと中枠フレームを下図のように、横桟セットの上部スペーサーと下部スペーサーを使って連結します。センター部分の寸法は、下図を参照してください。



※標準は、天板厚20mmと合わせて、高さが850mmの設定となっています。50mmと100mmのオプションと組み合わせ、左図のように900mmと950mmの高さ設定とすることができます。

設置

② 基本フレームの固定と各種オプションの組立

側枠フレームと中枠フレームを下図のように、横桎セットの上部スペーサーと下部スペーサーを使って連結します。センター部分の寸法は、下図を参照してください。

⚠ 注意

基本フレーム等を取り付ける取付木（厚さ30mm以上、幅90mm以上）が指定通りに使用されていることを確認してから取り付けてください。

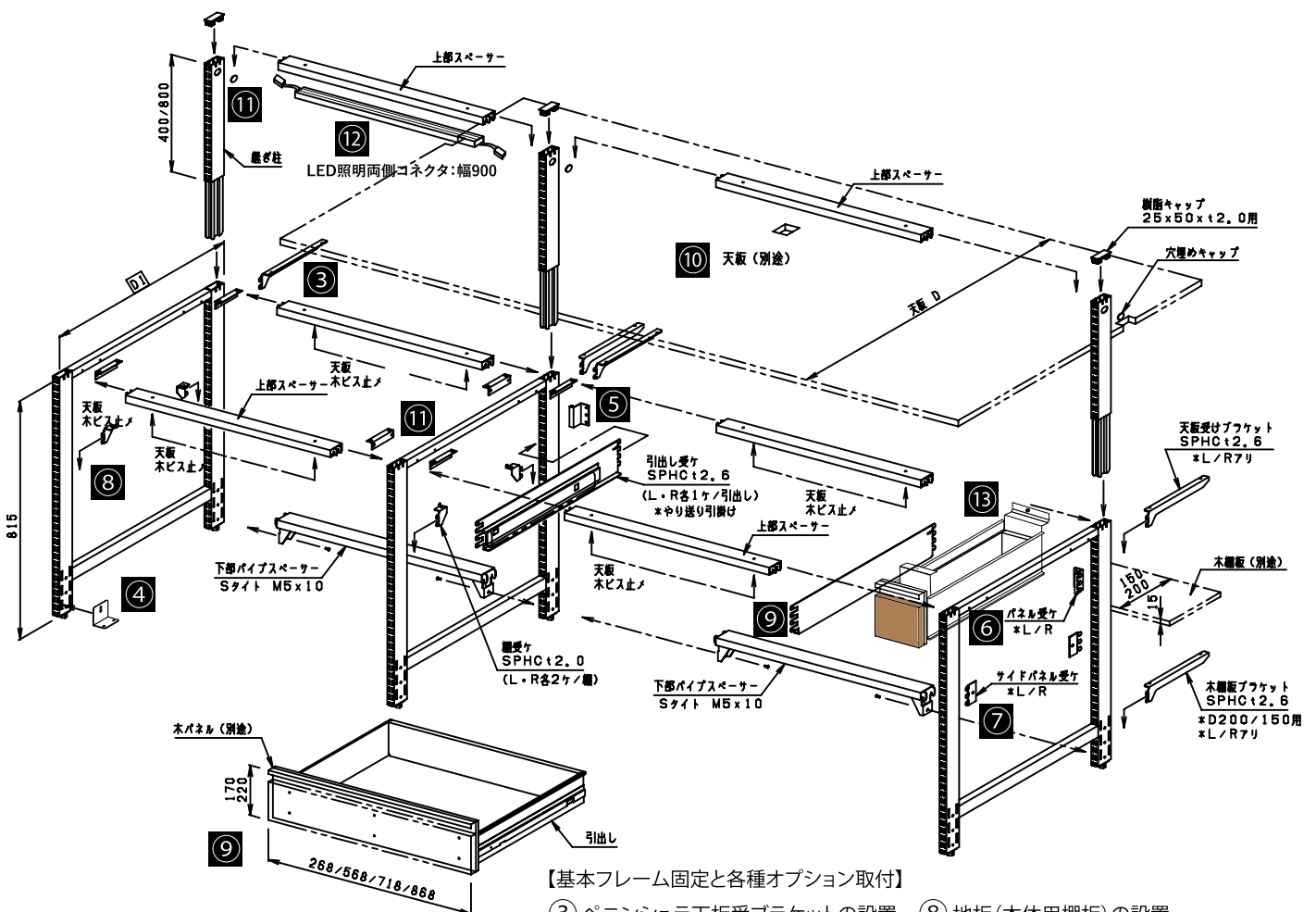
※ 取付木に十分なねじ保持力がないと、使用中に壁に取り付けた物が落下し、ケガをする恐れがあります。

基本フレーム等は必ず商品に同梱している専用のねじで取り付けてください。

※ 適切なねじを使用せずに取り付けると、使用中に壁に取り付けた物が落下し、ケガをする恐れがあります。

基本フレーム等を動かす場合には、同梱のSタイトなどで連結固定してから運搬してください。

※ 連結固定する前に運搬すると、破損してケガをする恐れがあります。



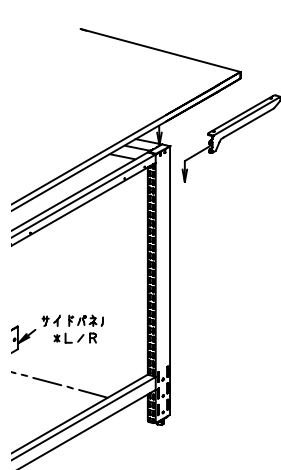
【基本フレーム固定と各種オプション取付】

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ③ ペンシユラ天板受ブラケットの設置 | ⑧ 地板(本体用棚板)の設置 |
| ④ 基本フレームの床固定 | ⑨ 引出しの設置 |
| ⑤ 基本フレームの壁固定 | ⑩ ワークトップの設置 |
| ⑥ 幕板やパネルの設置 | ⑪ 拡張フレームの設置 |
| ⑦ 横幕板の設置 | ⑫ LED照明(オプション)の設置 |
| | ⑬ 小引出し(オプション)の設置 |

設置

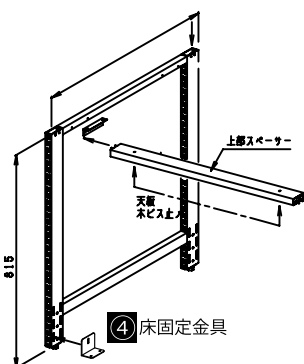
③ ペニンシュラ天板受ブラケットの設置

側枠フレームと中枠フレームは下図のように、I型とペニンシュラ型ともに共通のもので、向かって背面にブラケットを付けて受けることでペニンシュラ型に対応します。その際、下図中の赤矢印部分を添付のビスで固定してください。



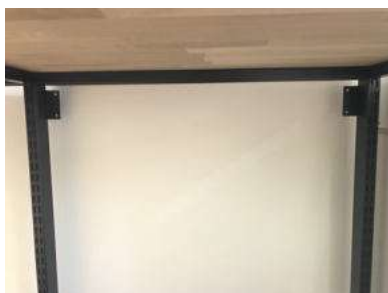
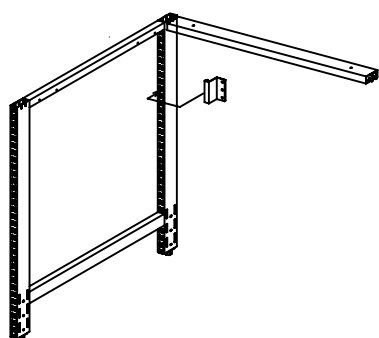
④ 基本フレームの床固定

側枠フレームと中枠フレームを横桟セットを使って結合し、オプションなどの設置や設備機器などを設置が終わったのちに、床との固定をする場合、下記のように床固定金具を枠フレームとの固定は同梱されたタップタイトM5×10を用い、床への固定は、根太構造・捨て貼り工法・スラブへの直貼り工法などの床構造に合わせ。任意の長さをお選びください。
(Φ4×18~50mmトラスタッピンネジ)《現場手配必要》



⑤ 基本フレームの壁固定

側枠フレームと中枠フレームを横桟セットを使って結合し、オプションなどの設置や設備機器などを設置が終わったのちに、壁との固定をする場合、下記のように壁面の固定用下地が確保出来る任意の高さへ枠フレームのスリットを用いて取付し、壁への固定は、構造壁・間仕切り壁・モルタル壁などの壁構造に合わせ。任意の長さをお選びください。
(Φ4×18~50mmトラスタッピンネジ、モルタルの場合アンカー等も併用してください)《現場手配必要》



設置

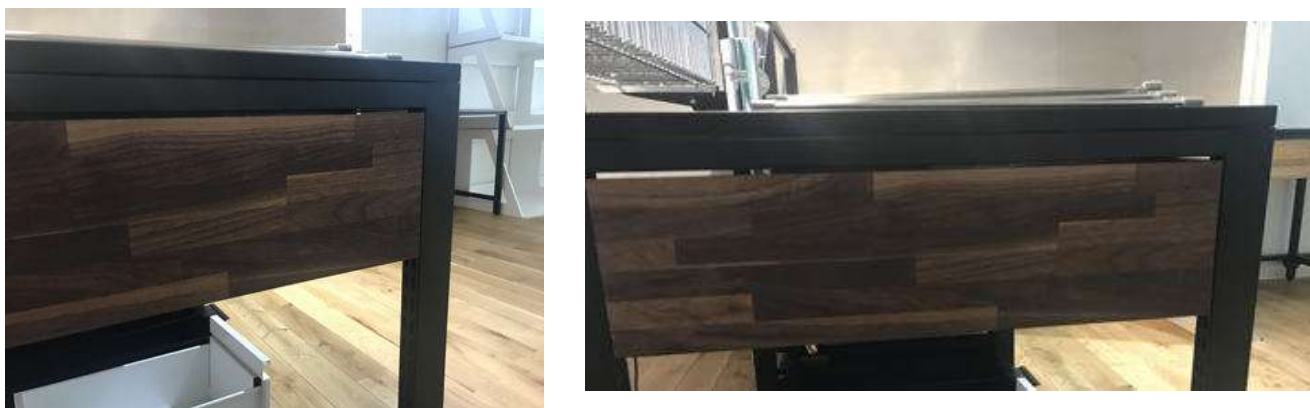
⑥ 幕板やパネルの設置

側枠フレームと中枠フレームを下図のように、横棧セットの上部スペーサーと下部スペーサーを使って連結します。センター部分の寸法は、下図を参照してください。



⑦ 横幕板の設置

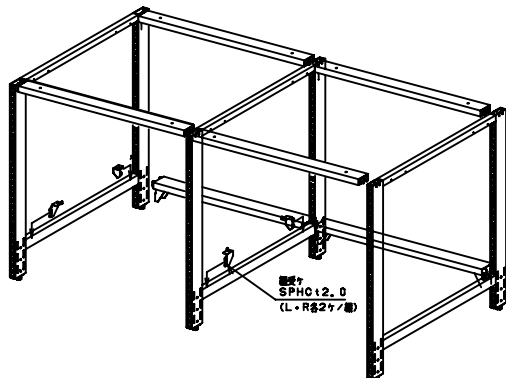
側枠フレームと中枠フレームを下図のように、横棧セットの上部スペーサーと下部スペーサーを使って連結します。センター部分の寸法は、下図を参照してください。



設置

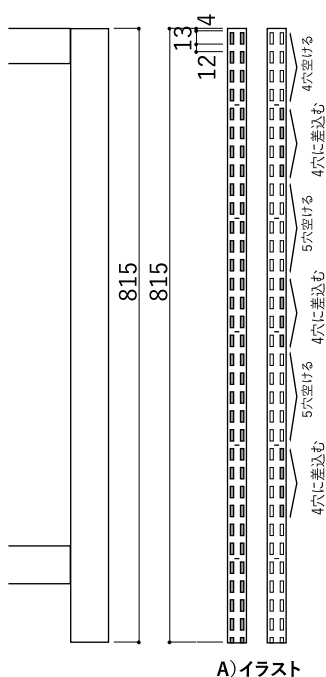
⑧ 本体用棚板及び地板の設置

連結された側枠フレームと中枠フレームに地板でしたら下図の位置、棚板はその他オプション・ビルトイン機器に干渉しない位置に棚受け用ブラケット(左右アリ、各2個)を同じレベルに取付け、その上に棚板を下側に棚受け用穴がくるように設置します。棚板や木部は無塗装の状態での納品となりますので、お好みのオイル塗装などを行ったのちに設置してください。



⑨ 引出しの設置

側枠フレームと中枠フレームを下図のように、横棧セットの上部スペーサーと下部スペーサーを使って連結します。センター部分の寸法は、下図を参照してください。



1) 引出しの前板は別出荷されているので、必要な塗装などを行ったあと、下辺左右辺を合わせて裏側から、同梱のΦ4×12mmのビスで固定してください(赤斜線部分)



2) 引出しは、最大3段取付られます。上図は上から浅型・深型・深型と3段取り付けたところで、取付ピッチは、本文面左端のA)イラストに示した位置への取付となります。



3) 引出し用ブラケット(左右アリ)はキッチン正面から向かって奥側から、手前に差込むように、やり越して引き込みます。

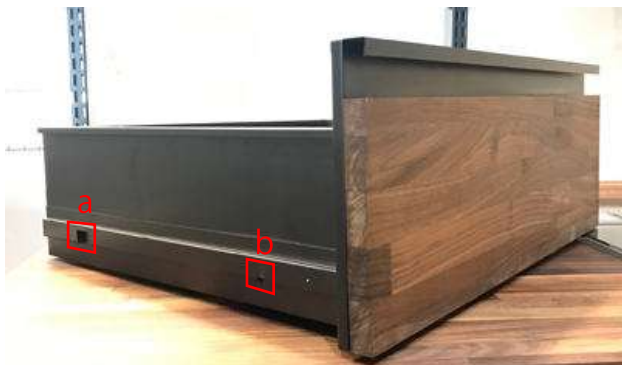


4) 次に、奥側は引き込んだブラケットを奥に出しながらスリットにはめ込みます。このとき、樹脂製の

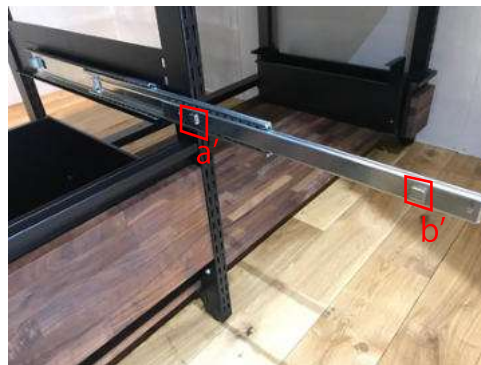
設置

⑨-2 引出しの設置-ブラケットと引出しのセッティング

設置したい高さに、引出し用ブラケットを取り付けたのち、引出し本体に下記の写真のように前板用集成材を、引出し裏側から同梱のタッピンビスΦ4×12(黒)を用いて固定し、下記の5)～7)の要領で取付ます。(引出しの取り外しは逆の手順となります)



5) 引出しの本体の左右側板の外側には、上記写真のようにa), b)のように一部切り欠きがされています。(赤枠部分)



6) 引出しの受け側レールには、上記写真のように5)の切り欠きと対応するようにa', b'の出っ張りがあります。(赤枠部分) まず、a'に合わせて、aの切り欠きを上から落とし込みます。



7) 6で上から落とし込んだa部分がa'に嵌合したことを確認のち、上図①の様に、手前にスライドさせ、カチッとかみ合うまで動かします。次に、bとb'がかみ合うように②の方向に上から落とし込みます。(赤⇒部分)



8) 上図のようにbのように下まで落とし込みます。引出しを取り外すときは、逆の手順にて取り外します。

設置

⑩ ワークトップの設置

ワークトップは、シンク部(水回り)はメラミンポストフォーム天板、加熱機器回りと調理スペースは無垢集成材(オーク材とウォールナット材)から選択していただき、組み合わせるようになっております。その際、接合部には同梱のシールテープ(黒)を接着いただき、下記写真のように、D(中央接合部)、E(中央接合部)天板固定金具を取り付けてビス固定、F(両端部) 枠フレーム下側に空けられた穴からビス固定してください。(いずれに使用のビスも、同梱されているΦ4×12mmのタッピンビス(黒)を使用してください。天板固定金具を枠フレームに固定するところのみ、タップタイトM5(黒)で固定してください。



D:天板固定金具は奥行方向のセンターに固定してください。

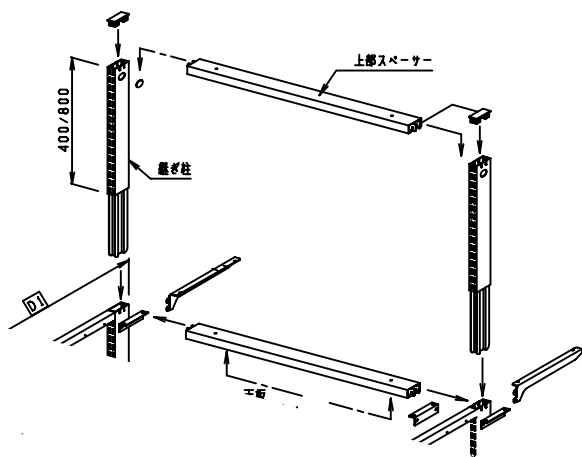
E:天板固定金具は無垢集成材とメラミンポストフォームの両側に固定してください。

F:天板の両端は枠フレームの下側から固定してください。

※ワークトップ及び幕板などの木部は無塗装となっておりますので、現場にてオイル加工などしていただくか、別途、塗装依頼してください。

⑪ 拡張フレームの設置

側枠フレームと中枠フレームを下図のように、横桎セットの上部スペーサーと下部スペーサーを使って連結します。センター部分の寸法は、下図を参照してください。



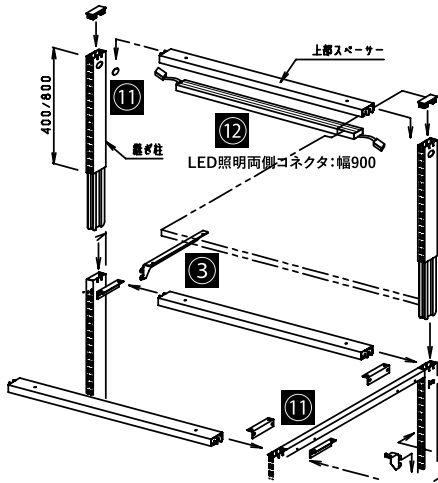
※ 拡張フレームを設置される場合、前もって穴加工のご依頼いただくか、現場にて加工してください。

設置

⑫

LED照明(オプション)の設置

上部拡張フレームを設置し、LED照明(オプション)を設置される場合、下図の(1)~(6)のような手順で、LED照明をマグネットで取りつけてください。また電源コードにはスイッチを内蔵しておりませんので、壁スイッチ(現場手配)などを取り付けるようにしてください。



(1) 設置場所のコード用穴についての蓋を取り外してください。



(2) 連結している場合も同様です。(3) 蓋を外した穴にコードを通します。



(4) 穴を通したコード用からカプラを出し、となりの照明のカプラに差込みます。



(5) この時、カチッと音がするまで差込むようにしてください。

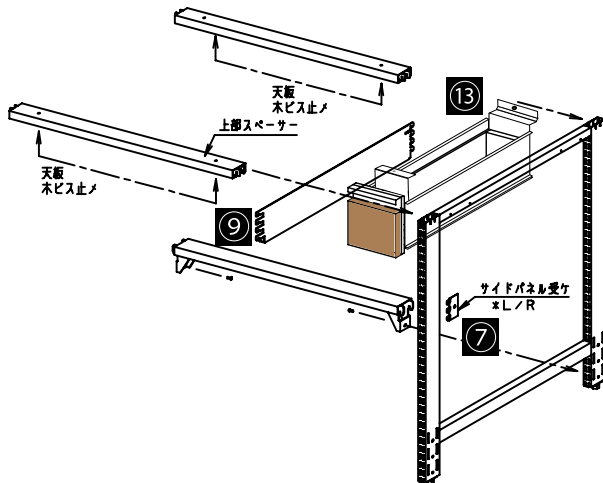


(6) 電源を取りたい穴からカプラを出して、電源コードに接続してください。

⑬

小引出し(オプション)の設置

小引出し(オプション)は、横棧セットに直接吊り下げるように取り付けます。下図のような要領で設置してください。センター部分の寸法は、下図を参照してください。



(1) 小引出しのフレームと本体は写真のような状態となっています。



(2) フレームに取り付けるときは、フレームから本体を、取り外しフレームのみに行います。



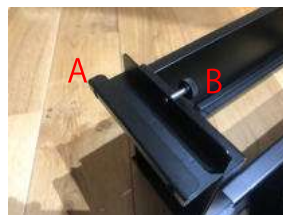
(3) 本体には木材の前板を上図のように、下端と左右の端を合わせて、裏面から添付の、Φ4×12mm(黒)でビス固定します。



(4) フレームの前側の上部に上写真のようなツメが付いています。



(5) フレーム前側のツメは、横棧フレームの下側にあるスリットに差込みます。



(6) フレーム後側は、Aのフックを後側の横棧フレーム下側のスリットに引っ掛け、Bのネジで締め付けます。



(7) (6)の説明のようにAをスリットに差込みます。



(8) 引っ掛けて落ちないことを確認したうえでBのネジを締め付け前後に固定します。

設置

⚠ 注意

水栓・排水トラップの取付部のナットは十分に締付けを行ってください
※締付けが不十分な場合、使用中に漏水する原因になります。



排水のホースはねじれ・折れ曲がりがないよう排水管に確実に接続してください。
※漏水や排水詰まりの原因となります。



⑭ 水栓金具の取付

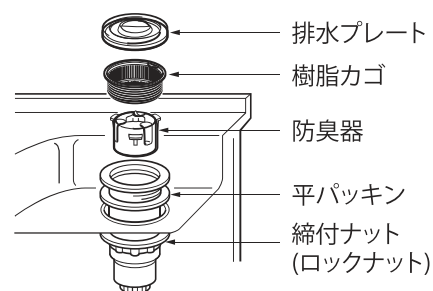
水栓金具に付属の施工説明書に基づき、取付けます

⑮ 排水器具の取付

排水器具（排水トラップ/浅型ごみ収納かご）の取付けは、右図の順序で専用締付け工具<下図>を使って締付け、確実に取付けてください。



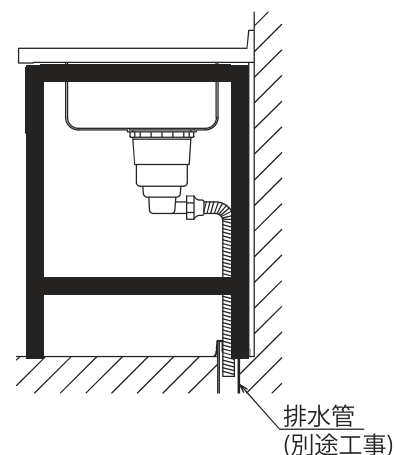
専用締付け工具
(現場手配)



排水のホースは地板に排水管位置を実測した位置に、 $\phi 38$ くらいで下穴をあけてください。

※このとき、パイプがねじれないようにし、排水管に接続したあと、防臭キャップを忘れずに取付けてください。

排水トラップの上（シンク側）から樹脂かごを取付けてください。



設置

⚠ 注意

水道・ガス・電気工事は、関連する法令・規定に従い必ず有資格者が行ってください。漏水・火災・感電など事故の原因になります。



⑩ 機器類の取付

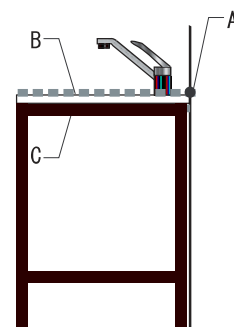
各種機器の取付けにあたっては、付属の設置工事説明書にしたがってください。

⑪ 配管・配線の接続

水道・ガスの配管、電気の配線と接続は専門の有資格者が行ってください。

⑫ コーキング

マスキングののち、防カビタイプのシリコンコーキング(現場調達品)をAの部分には必須で、キッチンサイドが壁に接する場合はB部分を、天板と天板の突合せ部は上記コーキング、又は両面タイプシールテープ(現場調達品)をご使用下さい。



⑬ 点検・清掃

施工・機能をチェックした後、ユニット内、シンク内はもちろん施工準備スペースも含め清掃してください。

⑭ 養生

後工程で工事があった場合、梱包材のダンボール、PPシートを使ってキッチンに養生を施してください。

⑮ 残材処理

設置工事にて発生した残材、梱包材は残らず、回収し、破棄する場合は必ず公的許可を受けた業者に依頼してください。

商品仕様

本体(フレーム)

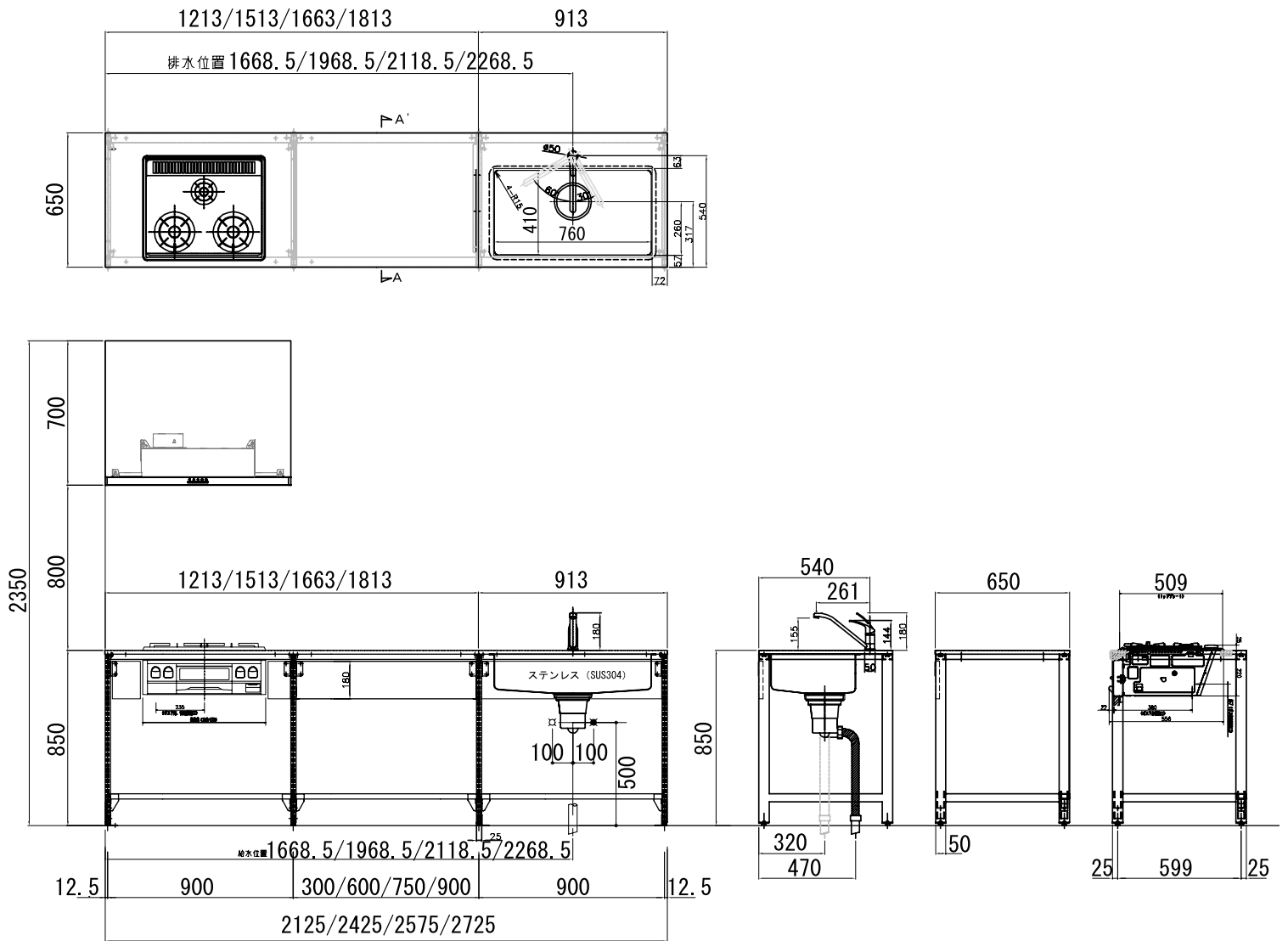
部材名	
枠フレーム	50×25矩形パイプ/前後ダブルスリット加工 黒メラミン焼付塗装仕上げ
幕板	ウォールナット集成材・オーク集成材/t=20mm、無塗装(オイル塗装、ウレタン塗装など処理必要)
横幕板	ウォールナット集成材・オーク集成材/t=20mm、無塗装(オイル塗装、ウレタン塗装など処理必要)
棚板/地板	ウォールナット集成材・オーク集成材/t=20mm、無塗装(オイル塗装、ウレタン塗装など処理必要)

ワークトップ(天板)

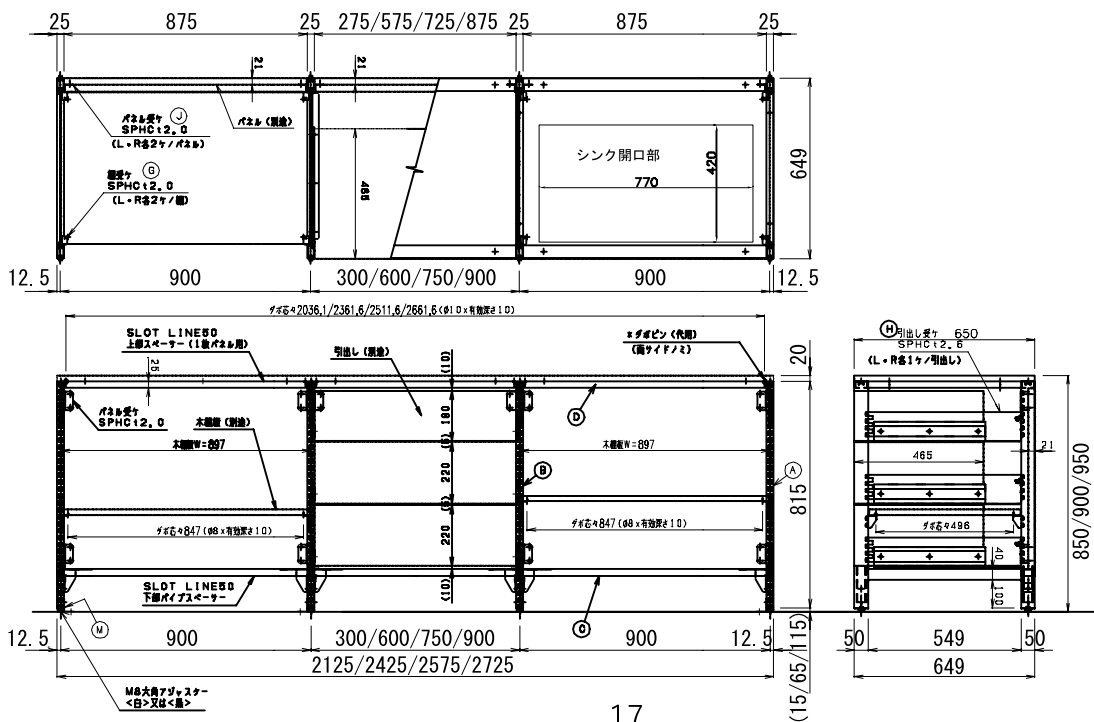
部材名	
シンク	ステンレスシンク N760ZW/SUS304、スクエアシンク
排水トラップ	ABS樹脂 浅型排水トラップ
シンク部天板 <small>(各サイズ共通)</small>	メラミンポストフォーム/黒 (I型) D650×W913、(ペニンシュラ型) D962×W913
加熱部天板	ウォールナット集成材・オーク集成材/t=20mm、無塗装(オイル塗装、ウレタン塗装など処理必要)
I型2125用	(I型) D650×W1214
I型2425用	(I型) D650×W1514
I型2575用	(I型) D650×W1664
I型2725用	(I型) D650×W1814
ペニンシュラ型2425用	(ペニンシュラ型) D962×W1514
ペニンシュラ型2575用	(ペニンシュラ型) D962×W1664
ペニンシュラ型2725用	(ペニンシュラ型) D962×W1814

標準施工図 I型レイアウト L (左シンク位置) ・R (右シンク位置)

基本プラン I型 2125R/2425R/2575R/2725R サイズ

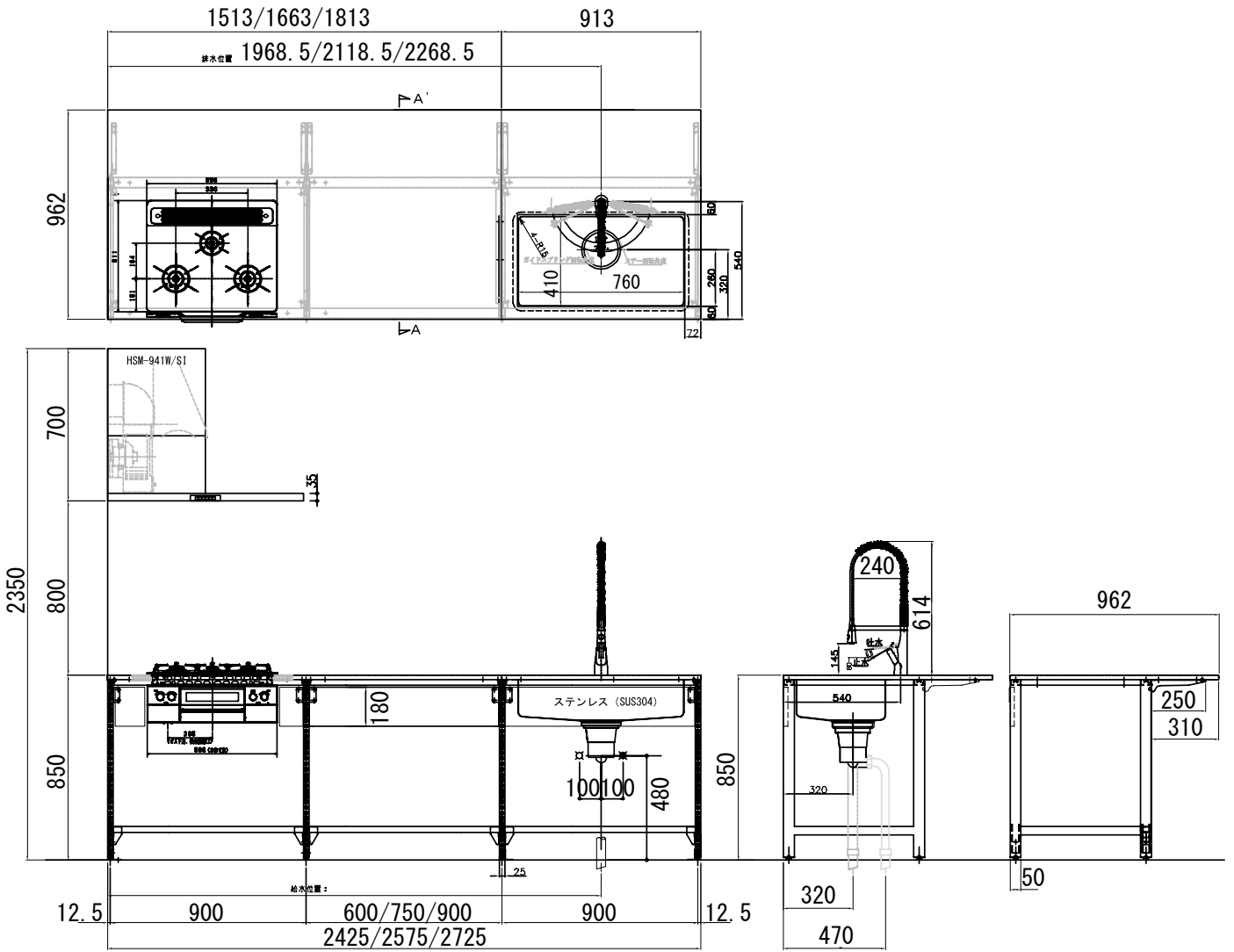


基本プラン I型 2125R/2425R/2575R/2725R サイズ 【オプション】

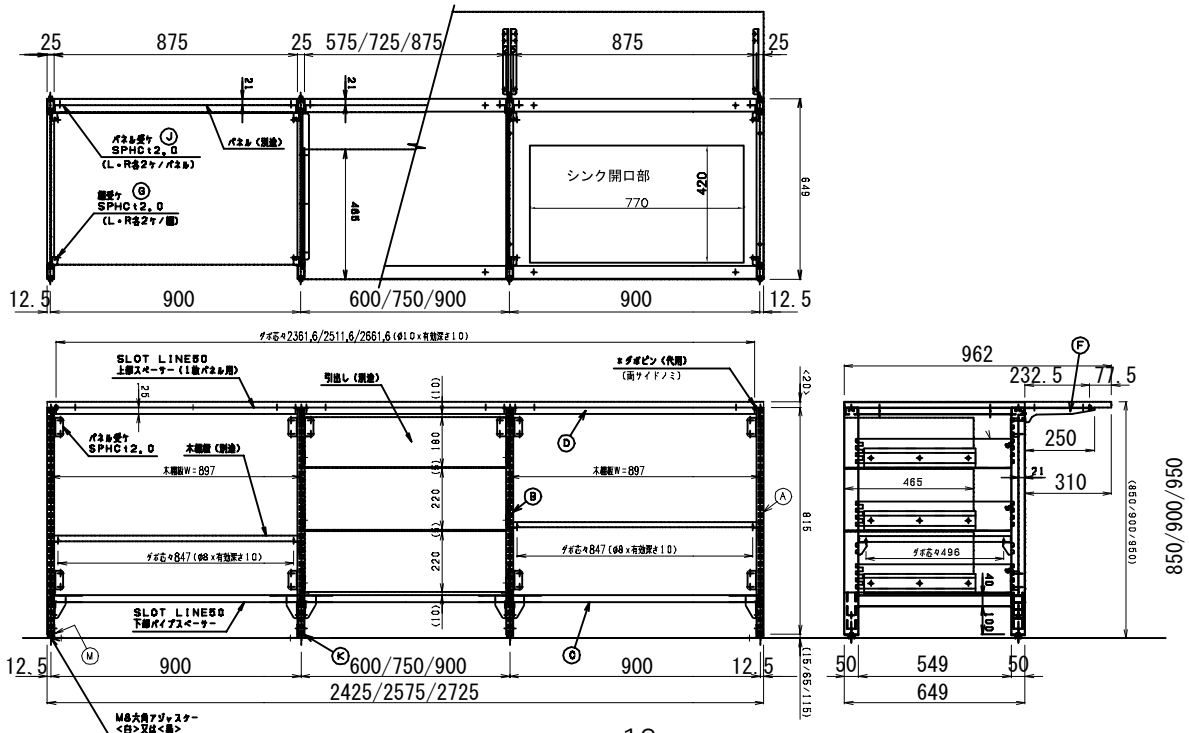


標準施工図

基本プラン ペニンシュラ型 2125R/2425R/2575R/2725R (左シンク位置)・R (右シンク位置)



基本プラン ペニンシュラ型 2125R/2425R/2575R/2725R サイズ 【オプション】



株式会社 PIU STYLE

電話 :048-271-9333

住所 :〒332-0012 埼玉県川口市本町4-13-3
デュオプラザ川口壱番館 205号

商品に関するお問い合わせを承ります。